

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2393600057
事業所名	グループホームえんなり

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目：2)	評価
	グループホームが3階にあり外出する機会が少なくなり易いので、法人主催の秋祭りに地域住民を招待したり、認知症カフェへの支援を行っている。日常的にはボランティアによるラウンジコンサート、ピアノ・ハーモニカ演奏や障がい児放課後デイサービスとの定期的に交流を図っている。また、おやつなどは毎日近隣のスーパーへ買い物に出かけ声掛けなどにも配慮している。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目：3)	評価
	年間計画をたて、年6回「運営推進会議」を開催、区長・市職員・地域包括職員・民生委員・家族が参加してグループホームの現状報告、事故・ヒヤリハット報告をしている、行政側からは介護保険や研修、外出行事の参考情報を得て、感染症対策や行事予定なども話し合われている	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目：4)	評価
	管理者は江南市のグループホーム管理者会議、認知症部会、介護事業者連絡会に参加し、情報の収集と意見交換に努めている。母体法人は地域包括支援センターを受託・運営しているので、日常的な連携は図られている。「介護度認定」の機会には介護情報を基にケアプラン見直しなどに役立っている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目：6)	評価
	利用者の意向については入所時に確認して、家族さんの来所するあらゆる機会に意向を聞き運営に反映している。また、毎月の月刊誌制作に全職員が参画して「ネクストレター」や利用者ごと担当を決めて利用者を観察して「入居者様状況報告書」に纏めてモニタリング結果を報告している。要望や意見は職員会議などで話し合い運営に反映させている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		◎

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
総合評価				○	×	×	○	×	×	○	○